

# 国語科「読むこと」において考えを形成できる児童の育成 —教材と自分との関わりを大切にした指導を通して—

令和元年度 前橋長期研修研究員 菅沼 由佳

## 研究の概要

### 研究の背景

より深く理解したり表現したりするためには「考えを形成し深める力」を育成することが重要であることが示された。【中教審答申(H28)】

「学習内容の改善・充実」の一つに「考えの形成の重視」が掲げられ、「考えの形成」の指導事項が全ての領域に位置付けられた。【学習指導要領(H29)】

文章の内容の理解に留まり、自分の言葉で感想や考えを表出することが苦手。【児童の実態】  
教師側から課題や場面を与え、読ませていることが多い。【教師の実態】

そこで

学習への意欲を持続しながら、文章の内容を理解したことに自分のもっている知識や体験を結び付けることで、深まったり明確になったりした思いや考えをもつことができる児童を育成したいと思いました。

そのために

「教材と自分との関わりを大切にした指導」が必要であると考えました。

〔手立て1〕

### 教材と関わる**目的**をもつ

考えを形成することに適した言語活動を設定し、児童が自分の知識や経験を結び付ける目的をもつことで、意欲を持続しながら学習に取り組めるようにする。

〔手立て2〕

### 教材と関わる**場面**を選ぶ

児童が言語活動の目的に沿って自分の知識や体験を結び付ける場面を自分で選ぶことで、叙述に即して読むことができるようにする。

〔手立て3〕

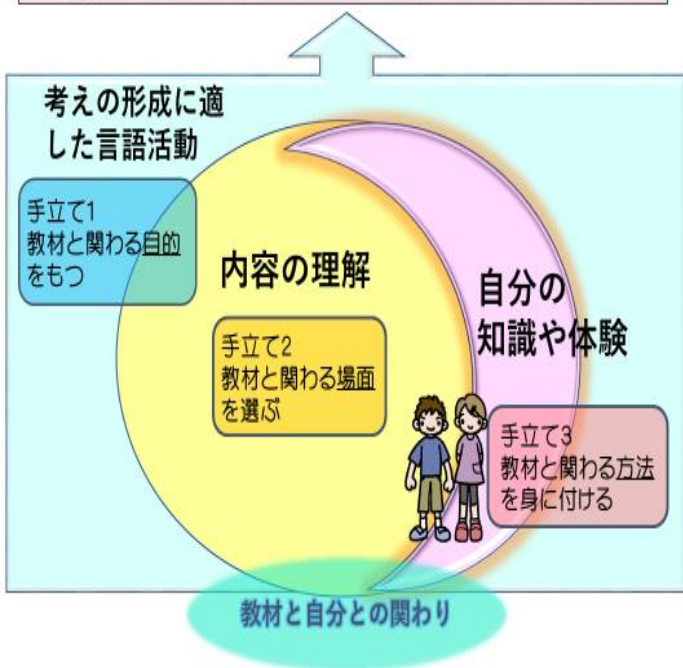
### 教材と関わる**方法**を身に付ける

児童が自分の知識や体験と結び付ける方法を身に付けることで、深まったり明確になったりした思いや考えを自分の言葉でもつことができるようにする。

学習への意欲を持続しながら、文章の内容を理解したことに自分のもっている知識や体験を結び付けることで、深まったり明確になったりした思いや考えをもつことができた！



国語科「読むこと」において考えを形成できる児童の育成



# 実践の概要

(手立て1)  
教材と関わる**目的**をもつ

考えを形成することに適した言語活動を設定し、児童が自分の知識や経験を結び付ける目的をもつことで、意欲を持続しながら学習に取り組めるようにする。

様々な言語活動の中で、考えを形成することに適した言語活動があると考えました。

例えば、児童が「思いや考えをもちやすい」「自分の体験と結び付けるよさを感じやすい」などの特徴をもった言語活動です。

「考えの形成」において、  
低学年:「感想をもつこと」  
中学年:「感想や考えをもつこと」  
高学年:「自分の考えをまとめること」  
が大切です。

## 考えを形成することに適した言語活動例と、考えを形成するための留意点

	言語活動例	考えを形成するための留意点
低学年	説明文 ・感想の交流会 (平行読書で得た知識も含む) ・紹介カード など	身近な経験を十分に想起する
	物語文 ・感想の交流会 (読み聞かせの感想も含む) ・劇遊び など	
中学年	説明文 ・新聞 など	内容理解を意識して感想や考えをもつ
	物語文 ・手紙 ・本の帯 など	
高学年	説明文 ・意見文 など	文章の全体を把握して自分の考えをまとめ発信する
	物語文 ・感想文 ・ブックトーク など	

### 第3学年「ちいちゃんのかげおくり」全7時間

【目標】◎戦争で亡くなった主人公におきた出来事や気持ちを理解し、自分と結び付けて感想をもつ。(才考えの形成)  
○会話・行動・情景や様子を表す叙述から、主人公の気持ちを捉える。(イ構造と内容の把握)

自分の思いをしっかりと表出させたいから、ちいちゃんへの手紙を書かせてみよう！

ちいちゃんの気持ちを叙述からしっかりと読んで、寄り添う気持ちをもってもらいたい！

児童が自分と結び付けて感想をもつことができるように、教師が明確なねらいをもち言語活動を考える。

戦争で亡くなってしまったちいちゃんに、何かしてあげたいという児童の思いを生かし、言語活動を設定した。

このお話を読んで、どんなことを感じましたか。

ちいちゃんは、亡くなってしまってかわいそう。

空の上にいるちいちゃんに、どんなことがしてあげられそうですか？

手紙を書いてあげるといいんじゃないかな。

児童の思いを生かした言語活動の設定

「空の上のちいちゃんに手紙を書こう」【言語活動の設定】

学習の目的をもち、意欲を持続できるようにしたいな！

どんな手紙にすると、ちいちゃんに喜んでもらえるそうですか？

ちいちゃんの気持ちが分かるよって伝わるような手紙だと思ふ。

ちいちゃんに寄り添う手紙がいいな。

ちいちゃんの気持ちをしっかりと分かって寄り添って手紙を書くことが重要であることを児童自身が気付けるようにした。

うーん。ちいちゃんに寄り添う手紙って、どんな手紙だろう？

書いた人の「体験が書かれている手紙(ア)」と「書かれていない手紙(イ)」では、どんな違いがありそうですか？

手紙(ア)

手紙(イ)

(略)わたしも、家族と遊ぶと楽しいよ。きっとちいちゃんも、ずっと遊びたかったんだろうね。(略)

(略)かげおくりをしている時、とても楽しかったんだね。(略)

自分のこと(体験)を入れると、もっとちいちゃんの気持ちを分かってあげられる感じになるね！

明日からは、ちいちゃんの気持ちを分かって寄り添うために、勉強していくんだね！

自分の知識や体験と結び付ける目的を理解した児童の姿



## (手立て2) 教材と関わる場面を選ぶ

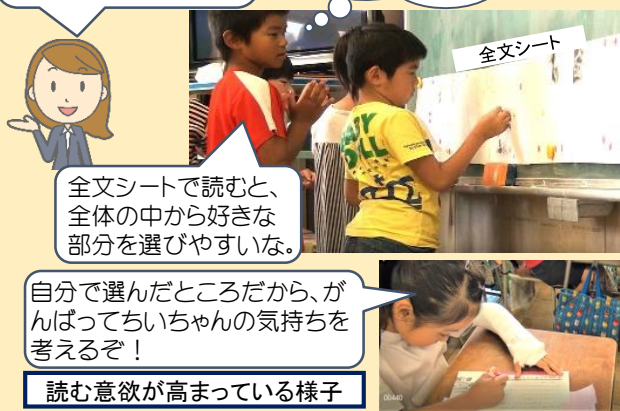
児童が言語活動の目的に沿って自分の知識や体験を結び付ける場面を自分で選ぶことで、叙述に即して読むことができるようにする。

① 言語活動の目的に沿って  
児童が自分で読むところを決める学習活動

自分でこだわりをもって読む場所を選ぶことで、「読みたい」「読む必要がある」と感じながら読むことができる。

ちいちゃんの気持ちを分かって寄り添うために、読みたいところを選びましょう。

空の上でみんなに会えたところを選んだよ。ちいちゃん喜ぶかな。



全文シートで読むと、全体の中から好きな部分を選びやすいな。

自分で選んだところだから、がんばってちいちゃんの気持ちを考えるぞ！

読む意欲が高まっている様子

② 読んで捉えた印象を表し、  
根拠を叙述から見付ける学習活動

マークや短い言葉で表すことで、なぜそのマークや言葉を選んだのかという根拠に目を向けることができる。

説明文の表現例	〈低学年向け〉	〈高学年向け〉	物語文の表現例	〈中学年向け〉
	! ? 😊	共感・納得・疑問		😞 😞 😊 😊

今回は中学年の物語文だから、「気持ちマーク」を使ってみよう！

ぼくは、ちいちゃんが一人でかげおくりをするところを読んで「不安」の気持ちを選んだよ。でも、どの言葉からそうに思ったのか、よく分からないな…



会話や行動だけでなく、景色やちいちゃんの様子を表す言葉にも目を向けてみましょう。

なるほど！「暑いような寒いような」「ふらふらする足」などからも読み取れるんだね！

根拠を叙述から見付けている姿

ちいちゃんの気持ち

根拠となる叙述

## (手立て3) 教材と関わる方法を身に付ける

児童が自分の知識や体験と結び付ける方法を身に付けることで、深まったり明確になったりした思いや考えを自分の言葉でもつことができるようにする。

① 知識と結び付ける発問

② 経験と結び付ける方法の提示

	知識や体験の種類	発問の具体例
説明文	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の内容</li> <li>既存の知識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇〇について（教材の内容について）知っていることはありますか？</li> <li>題名について知っていることはありますか？</li> <li>事例について、聞いたことや知っていることがありますか？</li> </ul>
物語文	<p>単元の導入などで、内容について知っていることを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語の時代や場所について知っていることはありますか？</li> <li>題名について、知っていることはありますか？</li> <li>作者について、知っていることはありますか？</li> </ul>

	知識や体験の種類	提示の具体例
説明文	生活の中での経験	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例に対する自分との比較 「自分も～したことがある。」</li> <li>意見に対する自分との置き換え 「自分だったらこうする、こう考える」</li> <li>主張に対する今後の生き方の指針 「これから～に生かしていきたい」など</li> </ul>
物語文	ワークシートや板書等で、結び付け方を示す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物に対する自分との比較 「自分も～したことがある。」</li> <li>登場人物に対する自分との置き換え 「自分だったらこうする、こう思う。」</li> <li>主題に対する今後の生き方の指針 「これから～に生かしていきたい」など</li> </ul>

今回は戦争教材だから知識と結び付けるのは難しそう…。でも自分の経験を想起させたいから、**教具**を使ってみよう！

実践で使用した教具：「マイ人形」  
画用紙で作った自分の人形を本文に当てながら読むことで、児童が文章の中に自分を入り込ませ、叙述から場面の状況や人物の心情を追体験することを促す。

結び付ける方法の提示  
「自分も～したことがある」「もし自分だったら～する」と考えてみましょう。



ちいちゃんがお母さんとはぐれたように、ぼくも迷子になったことがあるな。

でも、どうやってちいちゃんの気持ちを考えればいいのか。

もう一度マイ人形を当てながら読んで、迷子になった時の自分の気持ちを思い出しながら、自分がちいちゃんだったらどう思うか考えてごらん。



ぼくならこわくて不安で限界だな。ちいちゃんはちっちゃいのにすごいな。

自分の言葉で表現

# 結果と考察

## 〔手立て1〕 教材と関わる**目的**をもつ

### 手紙の内容より

- ・主人公の気持ちに触れている 85%
- ・自分の体験と結び付けている 80%
- ・自分の言葉で共感する思いを表出している。 85%

ちいちゃん

あげおくりをお母さんとお父さんとお兄ちゃんでおんなでやったの  
 しかたね。わたしはあげおくりをしたことないけどたのしかったね。  
 わたしもこんどや、ちいちゃんにあげたいです。  
 でもしょうはいばくたんでにげてるさいちゅうに人においぬかえたり  
 ぶつがてお母さんとはなれてさみしかったですね。  
 それでおばあちゃんかきて「お母ちゃんはお兄ちゃんは」ところでなくのを、  
 こうえたけどおれはなきたかたよね。あたしだけならおしなっていた  
 よ。でもここでなくのをこうえたあちゃんはずこいとおもうよ。  
 わたしは、そんなあちゃんをみながらいたいよ。

### 振り返りの内容より

「ちいちゃんの気持ちがかかるようにしっかり読みたい。」  
 「これから勉強していくことが分かった。」など、学習活動の目的や意欲の持続に関する記述があった割合

第1時	61%	第2時	86%
第3時	54%	第4時	61%
第5時	78%	第6時	78%
第7時	80%		

思いや考えを表出しやすく、中学年の発達段階の特徴を備えた言語活動を設定したことで、児童は目的意識をもち、学習への意欲を持続させながら、考えを形成することができた。

## 〔手立て2〕 教材と関わる**場面**を選ぶ

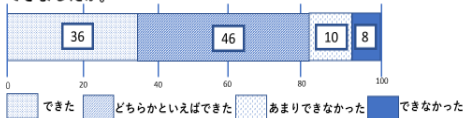
### ワークシートより

- ・「会話」「行動」「情景や様子」から、主人公の気持ちを表す叙述を見付けている。 88%
- ・気持ちを表す叙述を複数見付けている。 90%

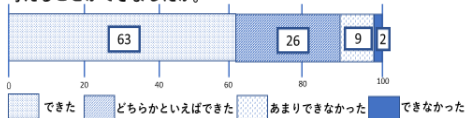
### 児童アンケートより

事後アンケートでは叙述から心情を読み取ることが「どちらかといえばできた」児童の割合が減り、その分「できた」児童の割合が大きくなった。このことから、自信をもって「読めた」「分かった」と感じた児童が増えたことが言える。

1学期に学習した「もうすぐ雨に」では、「ぼく」の気持ちを「言ったこと（会話）」「したこと（行動）」から考えることができましたか。



「ちいちゃんのあげおくり」では、ちいちゃんの気持ちを「言ったこと（会話）」「したこと（行動）」「けしきやようす」から考えることができましたか。



児童自身が、目的に応じて読む部分を判断して選び取ったことにより、何れも本文を読み、様々な叙述に目を向けて内容を理解することができた。

## 〔手立て3〕 教材と関わる**方法**を身に付ける

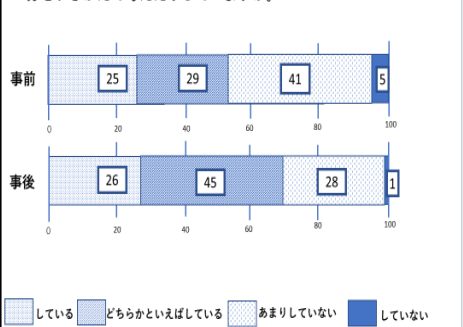
### ワークシートより

- ・主人公と自分の「比較」か「置き換え」のどちらかで自分の体験を書いている。 81%
- ・教科書に書かれていないことも含め、自分の言葉で主人公についての思いを書いている。 80%

### 児童アンケートより

今まで物語を読むときに、あまり自分と結び付けて読むことをしなかった児童が、実践を通して自分と結び付けて読むことを意識できてきたものと考えられる。

物語を読むとき、「自分にもこんなことがあったな。」など登場人物と自分を比べたり、「もし自分だったら」と、登場人物と自分をおきかえて考えたりしていますか。



文章と自分を結び付ける具体的な方法をワークシートや板書で示したことにより、児童はその方法を分かって自分の体験と結び付けることができた。

# 研究のまとめ

【成果】 教材と自分との関わりを大切に三つの手立てを通して、児童が学習への目的意識と意欲を持続させながら、文章を読んで自分の体験と結び付けて、自分の言葉で思いや考えをもつことができた。

【課題】 今回は物語文での実践であったが、説明文も含め、様々な文章で継続的に指導を続けていくことで、児童が主体的な読み手となって、文章を読んで自分の言葉で思いや考えをもつことができるようになることを考える。